

- 歯学学位プログラム（選択プログラム） - ボーダレス歯学研究者養成プログラム



養成する人材

歯科医学における幅広い学識に支えられた、高度な先見性と研究能力を有し、学際的・国際的、すなわち**ボーダレスに活躍できる教育者・研究者**及び社会の要請に応え、先進的歯科医療技術の開発・応用を担うことのできる**先端医療人**を養成します。日本人学生とともに多くの留学生を養成するプログラムです。

特色ある授業科目

コースワーク

国際性と学際性を重視したコース設計

専攻共通科目（高度リベラルアーツ科目）

研究方法論基礎・応用

（豊富な研究分野の授業）

（リモート・オンデマンドによる講義）

専攻共通科目（専門基礎科目）

医歯薬学プレゼンテーションプラクティス

医療倫理と法律的・社会的問題

医療対話学、医療データサイエンス

疫学

専門科目

最新歯科医学各論

イノベティブ・デンティストリー特論

臨床研究デザインワークショップ（演習）

その他の選択科目

リサーチワーク

国際性と学際性に通じた
質の高い研究力の獲得

歯学実習（受入指導教員による）

歯学演習（受入指導教員による）

課題研究（研究基礎力審査）

グローバル・プレゼンテーション1,2

（国際会議での実践）

広い視野による研究遂行能力を涵養する**医歯薬学プレゼンテーションプラクティス**や**最新歯科医学各論**など、国際性を重視した授業を多く展開します。

修了後の進路等

研究者：歯科医療に関わる生命科学を研究する国内外の機関・企業の研究者

大学教員：持続可能な社会構築のため生命科学領域において叡知を拡げつつ後進を養成する大学教員

臨床歯科医：多職種連携のもとポスト高齢化社会の歯科医療を実践する未来型臨床歯科医

多様な入試制度

- ・一般入試（第1回・第2回）
- ・進学者選考
- ・外国人留学生特別入試
- ・外国人留学生海外特別入試
- ・O-NECUSプログラム修了者特別入試

奨学金援助・研究費

- ・日本学生支援機構奨学金
- ・日本学術振興会特別研究員
- ・公益財団法人 大本育英会*
- ・岡山大学科学技術イノベーション創出フェローシップ*（*は岡山大生対象）

優秀な留学生の確保

- ・ASEAN中核医療系大学と連携する口腔器官再生・再建・統合生物学大学院生特別コース（国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム）
- ・O-NECUSプログラム修了者特別入試

履修モデル：歯学学位プログラム - 歯学系ボーダレス歯学研究者養成プログラム

学生の経歴：ハノイ医科大学歯学部を卒業。歯科医師の資格を取得し、教員として医科大学附属病院に勤務中。

動機：世界的な歯学研究者になり、母国の歯学研究の未来を担いたい！



必修科目

選択必修科目

学位：博士(歯学)

学位論文題目：必須アミノ酸トリプトファンによる骨髄由来間葉系幹細胞の未分化性維持と骨芽細胞分化制御

修了後の進路：米国NIHにポスドク留学。母国に帰国し公的研究機関の室長に。

入学

修了

外国人留学生 海外特別入試	1年次		2年次		3年次		4年次	
	【前期】	【後期】	【前期】	【後期】	【前期】	【後期】	【前期】	【後期】
専攻共通科目 (高度レベル アーツ科目)	研究方法論基礎 (4単位)							
	研究方法論応用 (4単位)							
専攻共通科目 (専門基礎科目)								
専門科目			最新歯科医学 各論 (2単位)			学生は、全ての教育課程を 英語で履修 することが可能である。		
リサーチワーク	インプラント再生補綴学実習 (8単位) (主科目:インプラント再生補綴学)							
	インプラント再生補綴学演習 (4単位) (主科目:インプラント再生補綴学)							
	医歯薬学プレゼンテーション・プラクティス (2単位) (副科目:組織機能修復学)							
審査	出身国では歯科臨床医であるが、 間葉系細胞の分化制御に興味があり、 医学系の組織機能修復学分野との共同研究を実施。		課題研究 (4単位)		研究基礎力審査		グローバルプレゼン1 (1単位)	30単位 取得
							グローバルプレゼン2 (1単位)	
							学位論文 執筆・投稿	予備審査 本審査

人材養成目標：歯科医学における幅広い学識に支えられた、高度な先見性と研究能力を有し、学際的・国際的、すなわちボーダレスに活躍できる教育者・研究者及び社会の要請に応え、先進的歯科医療技術の開発・応用を担うことのできる先端医療人を養成する。

◇ ボーダレス歯学研究者養成プログラム（コーディネーター 長塚 仁）

歯科医学における幅広い学識に支えられた高度な先見性と研究能力を有し、学際的・国際的、すなわちボーダレスに活躍できる教育者・研究者、及び社会の要請に応え先進的歯科医療技術の開発・応用を担うことのできる先端医療人を養成します。

修了後の進路として、持続可能な社会構築のため生命科学領域において叡知を広げつつ後進を養成する大学教員、歯科医療に関わる生命科学を研究する国内外の機関・企業の研究者、多職種連携の下ポスト高齢化社会の歯科医療を実践する未来型臨床歯科医などを想定しています。

授業科目一覧

授業科目	標準 配当 年次	備考（担当教員）	単位数		
			必修	選択 必修	選択
コースワーク					
専攻共通科目（高度リベラルアーツ科目）					
研究方法論基礎	1・2	（学務委員長）	4		
研究方法論応用	1・2	（学務委員長）	4		
専攻共通科目（専門基礎科目）					
医療倫理と法律的・社会的問題	1・2	（神田 秀幸）		0.5	
医療対話学（コミュニケーションスキル）	1・2	（大西 勝）		0.5	
医療データサイエンス	1・2	（座間味 義人、小山 敏広、濱野 裕章）		2	
疫学	1・2	（頼藤 貴志、高尾 総司）		2	
専門科目					
最新歯科医学各論	1～3	（歯学系部会長）	2		
イノベティブ・デンティストリー特論	2・3	（歯学系部会長、窪木 拓男）		2	
臨床研究デザインワークショップ（演習）	1・2	（窪木 拓男）			2
口腔ケア・摂食嚥下機能評価・栄養学特論	2・3	（高柴 正悟）			2
脳卒中特論	2・3	（安原 隆雄）			2
心筋梗塞特論	2・3	（中村 一文）			2
メタボリックシンドローム・肥満症特論	2・3	（和田 淳）			2
アンチエイジング特論	2・3	（尾崎 敏文）			2
臨床老年医学特論	2・3	（光延 文裕）			2
グローバル歯学教育実習	全	（受入指導教授）		1*	
リサーチワーク（学生の研究活動と受入れ指導教授による研究・発表指導を単位化した科目）					
歯学実習（別表参照）	全	実験・調査・記録・プラクティカム（課題解決型在外実習）を含む（受入指導教授）	8		
歯学演習（別表参照）	全	学内・学外での研究発表（受入指導教授）	4		
医歯薬学プレゼンテーション・プラクティス	全	専攻内共同研究先での研究発表（共同研究先の受入指導教授）		2	
課題研究	2・3	研究基礎力審査（学務委員長）	4		
グローバル・プレゼンテーション1	全	国外国際学会での研究発表（受入指導教授）		1**	
グローバル・プレゼンテーション2	全	国内国際学会での研究発表（受入指導教授）		1**	
修得すべき単位数			26	4	

*単位修得に上限は設定せず、繰り返し修得を可とする。修了要件に含む単位としては2単位を上限とする。上限を超える単位については、修了要件外とする。

**単位修得に上限は設定せず、繰り返し修得を可とする。修了要件に含む単位としては2単位（グローバル・プレゼンテーション1又はグローバル・プレゼンテーション2のいずれか一方で2単位も可）を上限とする。上限を超える単位については、修了要件外とする。

授業科目群	授 業 科 目	単 位 数	
		実習	演習
歯学実習	口腔形態学	8	4
歯学演習	口腔機能解剖学	8	4
	口腔生理学	8	4
	口腔生化学	8	4
	口腔病理学	8	4
	口腔微生物学	8	4
	歯科薬理学	8	4
	生体材料学	8	4
	応用情報歯学	8	4
	歯科保存修復学	8	4
	歯周病態学	8	4
	インプラント再生補綴学	8	4
	咬合・有床義歯補綴学	8	4
	歯科矯正学	8	4
	顎口腔再建外科学	8	4
	口腔顎顔面外科学	8	4
	歯科放射線学	8	4
	予防歯科学	8	4
	小児歯科学	8	4
	歯科麻酔・特別支援歯学	8	4
	総合歯科学	8	4